

県民の友 7月号

(平成5年/1993年)

No.659
和歌山県知事公室 広報公聴課
発行 〒640 和歌山市小松原通1-1
☎0734(32)4111

7月のこよみ
●海の記念日 20日
●森と湖に親しむ旬間 21日~31日

「きのくに志学館」 七月三十日オープン

和歌山市西高松の和歌山大学経済学部跡地で整備を進めていた新しい「県立図書館」、「県文化情報センター」、「県立文書館」からなる「きのくに志学館」が今月三十日にオープン、三十一日から図書などの貸出が開始されます。

国際化・情報化的時代。そして、生涯學習の時代。「きのくに志学館」は県民のみさんの文化的な要求に応えられるよう機能していきます。

香り高き和歌山県の文化をさらに高揚させるのは、私たち県民ひとりひとり。文化とのふれあいの場、生涯學習の場として「きのくに志学館」をお気軽に利用してください。

(四~五面で各施設の概要、利用方法などを特集しました。)



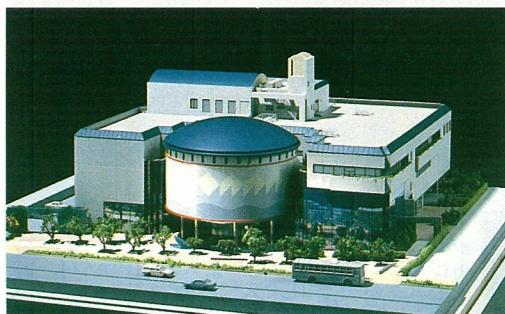
WAKAYAMA
JAPAN EXPO

世界リゾート博

平成6年7月16日(土)~9月25日(日)
主会場/和歌山マリーナシティ 平成5年7月3日~リレーイベント開催(県内各地)



マリーナシティ和歌山館着工



(写真上) 完成が楽しみなマリーナシティ和歌山館(模型)
(写真左) 5月13日に行われた起工式

世界リゾート博主会場開催期間中、自治体館として高野文化、熊野文化、県内の温泉や県下市町村の紹介など趣向を凝らしたパビリオンとしての機能を果たす「マリーナシティ和歌山館」の建設工事がこのほど始まりました。

このマリーナシティ和歌山館は鉄骨3階建てで、博覧会後も恒久施設となるもの。中心施設となる「海のミュージアム(博物館)」では、映像装置やコンピュータ、シミュレーション(模擬実験)装置等を使って海と人との関わりや海に関する情報を紹介。天井が球体をしたドーム型多目的ホールでの全天周映像による和歌山県の紹介も楽しみのひとつとなりそうです。

リレーイベントNO.3

熊野国際アートフェスティバル "KUMANO SPARK"

和歌山が世界に誇る「熊野」という歴史的文化遺産を背景に、「心のリゾート」を表現する芸術祭を開催します。

横尾忠則式飛瀧MANDARA展

(那智勝浦町那智の滝周辺)

8月12日~29日

横尾忠則氏の「滝のシリーズ」作品展。

弁天島海上野外劇場

(那智勝浦町弁天島)

8月26日~28日

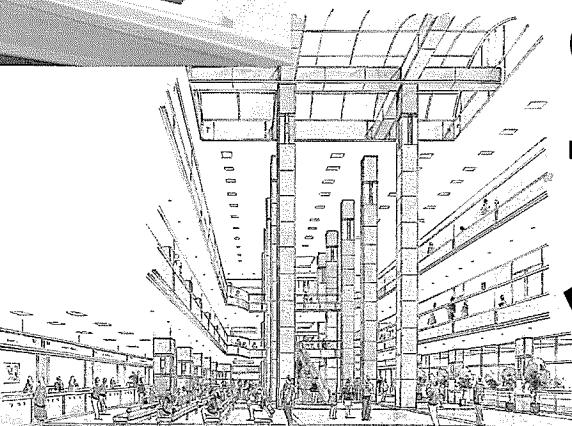
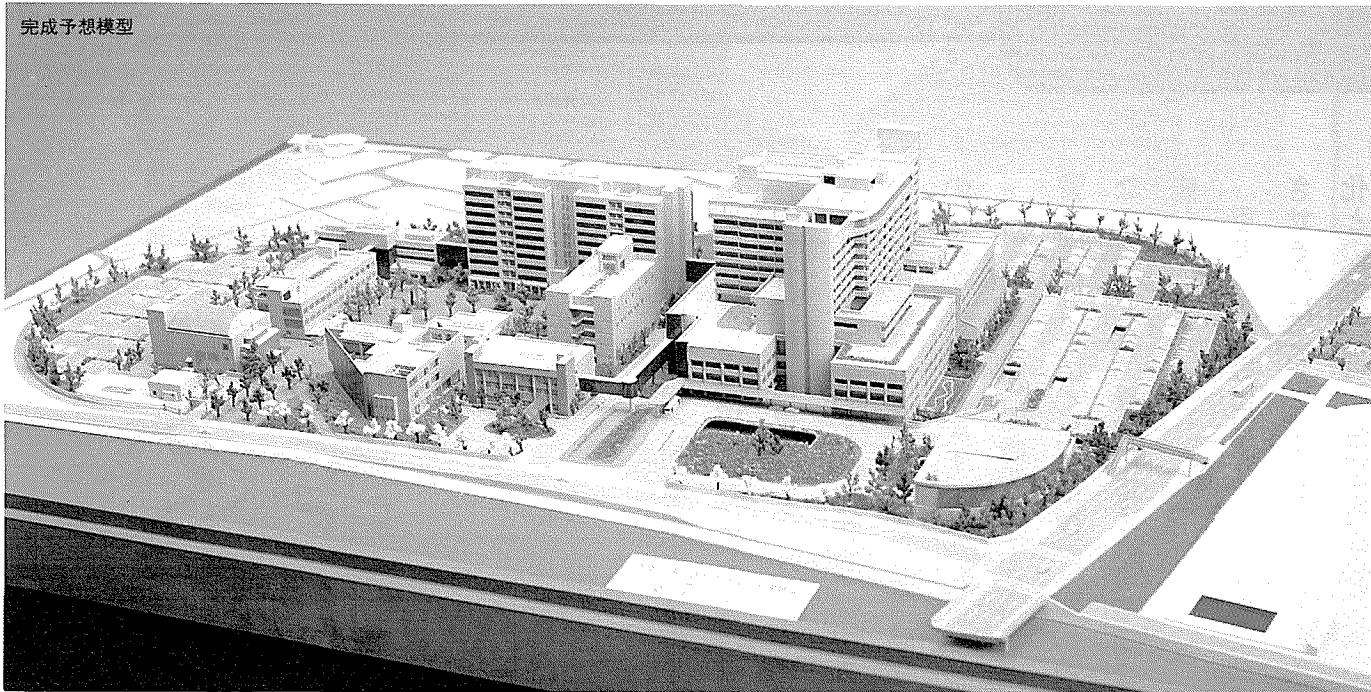


自然の景色を生かした海上舞台で、国内外の伝統芸能を披露。出演は白虎社ほか国際的アーティスト。

くわしいお問い合わせは、世界リゾート博熊野国際アートフェスティバル係
(☎0734-33-6388) へ

県立医科大学移転整備 基本設計まとまる

和歌山市の紀三井寺競馬場跡地を中心として整備する県立医大の基本設計がまとまりました。附属病院や基礎・臨床研究棟など合計十三棟を建てる計画で、来年度着工し平成十一年春の開設を目指します。



▲附属病院玄関ホール回りイメージ図



▼学部プラザ周辺イメージ図

十三階建て、八百ベッドに —附属病院—

附属病院は、ゆったりとしたス

ペースで求めの細かいサービスと同時に慢性的なベッド数不足を解消できるよう、地上十三階建ての施設に病床数八百床、病室は一人部屋と四人部屋で構成する計画です。

一階は救急外来、物流センターなど、二・三階は十八診療科の外来診療部門や検査部門、四階は手術部門、救急・高度集中治療センター、血液浄化センター、五階から十二階は病棟としています。

最上階(十三階)には、外食、食堂、売店、理容室などを設け、心の安らぎの場を提供。

また、二階の玄関ホールは三層吹抜けの大空間として、天井から自然光を取り入れ、広々とした明るいものとしています。屋上にはヘリポートも計画、遠隔地の救命、救急にも対応できるように考えています。

そのほか、定員四十人の託児施設や外来者用として六百七十台の駐車場なども整備。敷地内は季節感あふれるよい景観にするため、ヤマザクラやケヤキの並木など緑をふんだんに配したものを見計画しています。

六百七十台の 駐車場

新たに設置する先端的研究を行なう教育研究施設は、基礎・臨床研究棟の二・三階に、地域の医師などの生涯教育に活用できる生涯教育研修センターは、図書館棟の三階部分にそれぞれ配置しています。

また、進学・基礎講義棟には、今後の授業形態の高度化を予想してハイビジョン映像などマルチメディアの導入が可能な計画とします。

教育、研究の 高度化に対応 —大学—

大学部分は、進学・基礎講義

棟、基礎・臨床研究棟、図書館

など十棟の建物で構成し、附属

病院を含めて関連の深い棟は渡り廊下で結びます。

新しく設置する先端的研究を行なう教育研究施設は、基礎・臨床研究棟の二・三階に、地域の医師などの生涯教育に活用できる生涯教育研修センターは、図書館棟の三階部分にそれぞれ配置しています。

また、進学・基礎講義棟には、

今後の授業形態の高度化を予想

してハイビジョン映像などマル

チメディアの導入が可能な計画

とします。

ふれ愛 紀州路

ネイチャーランドキャンペーン



※ 参加無料、事前申し込み不要

日時 7月11日(日)午前10時30分～(和歌山市和歌浦・雜賀崎漁港集合)
講師 中村正也氏、高田誠三氏、
大野ユタカ氏

**シャツタートリップ
IN和歌浦—モデル大撮影会—**

印象的な漁村風景が魅力の雜賀崎周辺。誕生間もない斜張橋が夏の光を受けて輝いています。
'93ミス・インターナショナル、ミス・ワールドほか多数の方をモデルにいつもと違った海を狙つてみませんか。



昨年の「吉宗祭り」から



日時 7月17日(土)午前10時30分～(和歌山市片男波ビーチ)
18日(日)午前9時～(白浜町白良浜ビーチ)

最近、浜辺で大人気のビーチバレー。今年も元全日本バレーボールチームの川合俊一プロ・瀬戸山正二プロをゲストに、アマチュアの熱い闘いが繰り広げられます。飛び入り参加大歓迎のゲームも予定しています。

**情報満載
イベントガイドブック
配布中！**

紙面の都合で、すべてのイベントをご紹介できませんが、いろいろなイベントを計画しています。詳細を掲載したイベントガイドブックを季節ごとに発行し、配布していますので、ご希望の方は県観光連盟へ

● ● ● ● ●
イベントのお問い合わせ、お申込みなどは県庁観光課、県観光連盟(☎0734-41-2

安心して生活できる地域づくりを 介護の基本を学んでみませんか

(介護普及センター)

■入門講座

介護に関心のある方ならどなたでも参加していただけます。介護の基礎知識、初步技術を身につけてください。

開講日 平成5年5月～平成6年3月までの第1、第3金曜日

(午前10時～午後3時)

内容 お年寄りの方の特性と介護の心構え、簡単な介護方法など

■介護技術講習会

家庭で実際に介護されている方を対象に、具体的な介護方法を学んでいただきます。

開講日 平成5年5月～平成6年3月までの第3火・水曜日

(午前10時～午後3時30分)

内容 介護機器・用具の使用方法、介護実技(ベッドメーキング・床ずれの予防・食事の介助・身体のふき方ほか)など

■Let's Try KAIGO

中・高校生を対象に、介護体験を通じて、お年寄りとのふれあいを深め介護の大切さを学んでいただきます。

開講日 [第1回]平成5年7月22日・23日

[第2回]平成5年8月5日・6日 [第3回]

平成6年3月28日・29日

(午前9時～午後4時)

内容 リハビリテーションと介護についての講習、ふれあい体験など

～申込方法～

ハガキに希望の講座名と受講日、住所、氏名、年齢、職業、電話番号(Let's Try KAIGOの場合は、学校名、学年、保護者氏名(印))を記入し、希望受講日の5日前(必着)までに、〒641和歌山市毛見1451琴の浦リハビリテーションセンター内 和歌山県介護普及センターへ

※各講座とも定員20人(先着順)で、定員を超過した場合は通知があります。

(地域介護普及センター)

■初級講座

介護の基礎知識、初步の技術を身につけてください。どなたでも受講できます。

開講日 7月16日、23日、8月6日、27日、9月9日、24日、10月8日、22日、11月12日、26日、12月3日、16日、平成6

平均寿命80年、いまや世界一の長寿国となった日本。21世紀には国民の約4人に1人が65歳以上という高齢化社会を迎えます。

だれもが健康で長生きしたいと思うもので、長寿は大変喜ばしいことです。

しかし長寿とともに身体の機能が衰えたり、年齢に関係なく病気から身体が不自由になるなど、いつ、だれが介護したり、介護される立場になるかわからないのも現実です。

県では、住み慣れた街で、家庭で、安心して一生を過ごしたいというお年寄りの方の希望をかなえるとともに、県民の皆さんに介護する者、介護される者それぞれの立場を理解し、介護の知識と技術を学んでもらうため、和歌山県介護普及センター(和歌山市)と和歌山県地域介護普及センター(田辺市)を設置し、各種介護教室を開催しています。

グループでも、おひとりでも気軽に参加してください。



地域介護普及センター(田辺市)での介護実習

年1月14日、28日、2月10日、18日、3月3日、18日

(午後1時15分～4時30分)

内容 お年寄りの方の介護の心構え、介護実習など

■家族介護教室

家庭でお年寄りの方を介護している方やそれを支援している方に、3日間の講座を通して、在宅介護の知識と技術を学んでいただきます。

開講日 ◎7月10日・24日・8月7日 ◎

8月28日・9月9日・25日 ◎10月9日・

23日・11月13日 ◎11月27日・12月4

日・18日 ◎平成6年1月8日・22日・2

月12日 ◎2月19日・3月5日・26日

(午後1時15分～4時30分)

内容 福祉機器・介護用品の使用方法、調理・介護の実習など

～申込方法～

介護教室申込書を希望受講日の5日

前(必着)までに、〒646田辺市神島台6-1 特別養護老人ホーム真寿苑内 和歌山県地域介護普及センターへ

なお、介護教室申込書は田辺市役所、新宮市役所、西牟婁郡・東牟婁郡内各町村役場、西牟婁・東牟婁県事務所民生課などで配布しています。

※各講座とも定員20人(先着順)で、定員を超過した場合は通知があります。

〔福祉機器・介護用具などの情報提供〕



介護普及センター・地域介護普及センターでは、福祉機器や介護用具などそれぞれの人にあったものを紹介し、相談に応じています。

また、住宅の改造など、生活しやすくする工夫についての相談にも応じています。お気軽に相談してください。

なお、介護普及センター(和歌山市)では、各種福祉機器や介護用具などの展示を行っています。

くわしくは、
**和歌山県介護普及センター
(和歌山市)**

☎(0734)46-4811

FAX(0734)46-4821

**和歌山県地域介護普及センター
(田辺市)**

☎(0739)22-6589

FAX(0739)22-6569

色々な差別

同和連載
連載

この連載は、県同和委員会が毎年募集する同和運動啓発作文の入選作品を掲載しています。
子供たちがそれぞれの生活の中で素直な目で見つめた「人権」へのまなざし。
私たち大人への呼びかけです。

わたしは、これからも人を差別したりいじわるしたりしないたいと思いました。そのため、これから、色々な勉強をしてい

私は、人権でなんだろうと思つて、辞典をしらべてみました。人間である以上、当然のこととして保障されなければならない、自由平等の権利。と書かれています。でも、私は、とても、むづかしいと思いました。でも、人間みんな、平等で、自由であるとわかりました。でも、まりわりを見わたしても、みんな幸せにくらしていないと思います。何か、なやみをついて生きていると思います。私は、毎日、幸せで、何も、差別されたことも、ありません。でも学校の中でも、勉強ができる人間で、自分だけよければいい人が多いと思います。困った人があつたら助けてあげようと思わないで、しらん顔している人が多いと思います。かかわりになりたくない人ばかりだと思います。私は、これからのことを思つて、どうでも学校の中でも、勉強ができる人間で、自分だけよければいい人が多いと思います。困った人があつたら助けてあげようと思わないで、しらん顔している人が多いと思います。かかわりになりたくない人ばかりだと思います。私は、これからは、自分のことだけではなく自分が、反対に言われたら、反対にされたらどうだろう、思つていかなればならないと、テレビを見て感じました。

【】よう害をもつてゐる人も、背の低い人も勉強のできない人も、みんな同じ大切にされなくてはいけない人間、であることがよくわかりました。

私は、これからは、自分のことだけではなく自分が、反対にされられたら、反対にされたらどうだろう、思つていかなればならないと、テレビを見て感じました。

また何も考えないで、言つたことが友達を、きづけてしまつてはらをたたせているのではないかと思つました。

みんなのために、何かをするということを考えたこともあります。また何も考えないで、言つたことが友達を、きづけてしまつてはらをたたせているのではないかと思つました。

御坊市 塩屋小学校 四年 芝崎 真弓



広々とした玄関ロビー

開館時間

- 火曜日～金曜日 午前10時～午後7時
(児童室は午後5時まで、文書館は午後6時まで)
- 土・日曜日、5月5日、11月3日
午前10時～午後5時

休館日

- 毎週月曜日
祝日(5月5日、11月3日を除く)、月曜日が祝日のときは翌日も休館
5月4日
館内整理日 每月初日(1月は5日)、月曜日のときは翌日も休館
年末年始 12月28日～1月4日
資料点検期間 6月中の月曜日を除く10日間

きのくに志学館の利用方法などくわしいお問い合わせは、〒641和歌山市西高松1丁目7番38号 県立図書館・県文化情報センター(0734)36-9500、県立文書館は(0734)36-9540へ

最新の視聴覚メディアを利用し、音や映像による学習情報の提供などを行う文化情報センター。
視聴覚教育の振興を図るとともに、県民の皆さんの文化活動や学習活動を支援します。

ハイビジョンテレビ

ハイビジョンテレビの放送が視聴できます。

学習情報コーナー

コンピュータを利用した学習情報提供システムで和歌山県の各市町村の生涯学習情報や県立図書館の蔵書情報が検索できます。

学習相談

文化・学習活動などに関する相談に電話や学習相談室で応じ、生涯学習活動を支援します。

視聴覚教育の振興**視聴覚学習室**

映像、音声などをを利用して学習ができるパソコンを備えた学習室。各種の視聴覚教育研修を行います。(24席)

視聴覚ライブラリー

団体やサークルに16ミリ映画教材や映写機などを貸し出します。

文化・学習活動の支援**メディア・アート・ホール**

映写、音響、照明、昇降式の床などさまざまな演出



装置を備えたホールで、映画会をはじめ演奏会、演劇など多目的に利用できます。(300席)

講義・研修室

ビデオプロジェクターや映写機、オーバーヘッドプロジェクターなどの視聴覚機器を備え、各種の講義や研修会に利用できます。(99席)



メディア・アート・ホールと講義・研修室は一般の方も利用できます。(有料)

郷土の歴史探訪を もんじよ 県立文書館

**所蔵文書の種類と利用方法****古文書**

開館時には、紀州みかんや紀州綿ネルなどに関する資料約1,000点が利用可能です。閲覧室にある目録で検

古文書や公文書、歴史・行政資料などの収集、保存、整理を行い、学術、文化の発展に貢献します。

文書などの閲覧をしていただけるほか、郷土の歴史や古文書の寄贈・寄託に関する相談にも応じます。

探し、申請してください。複製物またはマイクロリーダーで閲覧できます。

公文書

官報、県報、昭和20年代までの公文書など開館時には1,800冊が利用可能です。閲覧室にあるカードで検索し、申請してください。原本で閲覧できます。

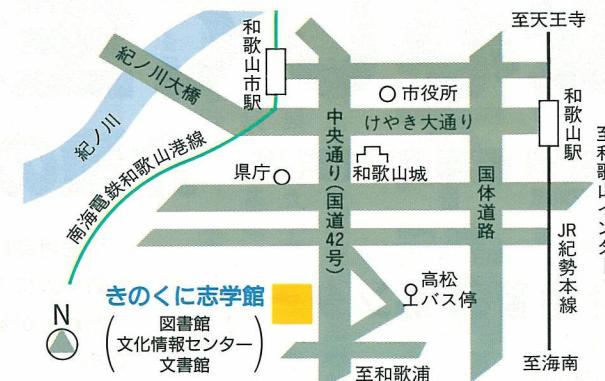
行政資料

和歌山県統計年鑑や国勢調査報告など1,600冊。自由に閲覧できます。

そのほかの参考資料

全国都道府県史や県内市町村史、戦前の地方新聞など2,900冊。自由に閲覧できます。

※利用は原則として館内のみです。複写は有料です。

**記念イベントも盛りだくさん**

きのくに志学館の開館を記念して7月30日から8月1日までの3日間、2階メディア・アート・ホールでいろんな催しを行います。

7月30日**映画(活弁)**

「赤垣源蔵徳利の別れ」

(昭和10年制作 阪東妻三郎主演)

弁士 井上陽一氏 楽団 大野政夫と和洋合奏団

上映時間 1回目上映 午後1時15分～3時 2回目上映 午後4時～5時45分

定員 450人

**7月31日****映画(アニメ)**

「わかやま誕生物語」(企画 和歌山県)

「チストーミどりのおやゆび」(文部省特選、日仏合作アニメ)

上映時間 午前10時～正午

定員 250人

**ファッショショーンショー**

高校生、専修学校の生徒によるファッショショーンショー

時間 午後2時～3時30分

定員 150人

**8月1日****講演会**

講師 C・W・ニコル氏

演題 「IN OUR NATURE」
(自然とともに)

時間 午前10時～正午

定員 280人

民俗芸能大会

椎出の鬼の舞(九度山町)、岡崎の団七踊(和歌山市)、藤白の獅子舞(海南市)、二川歌舞伎芝居「寿式三番叟」(清水町)、広八幡神社の田楽(広川町)、横浜の獅子舞(由良町)、三輪崎の鯨踊(新宮市)

時間 午後1時30分～4時

定員 150人

申込方法

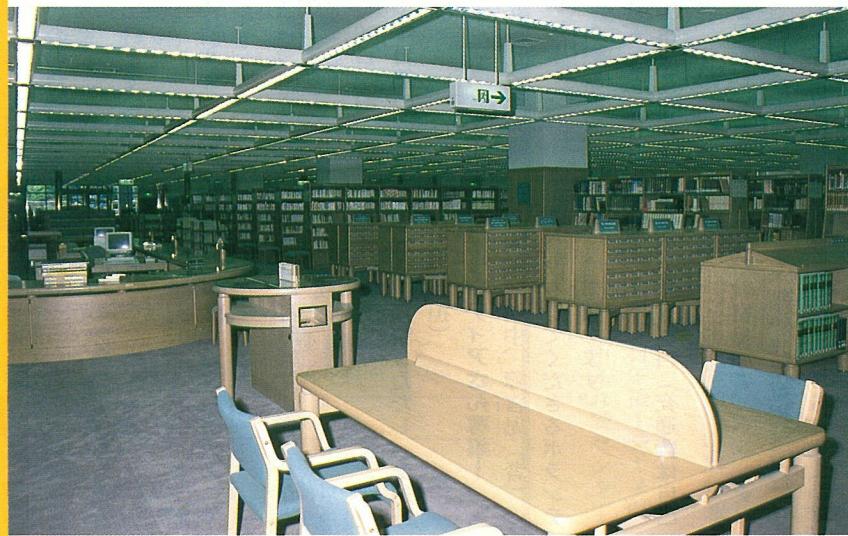
7月19日(消印有効)までに往復ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、参加人数(ハガキ1枚で2人まで)、希望する催し(映画(活弁)は1回目上映、2回目上映のどちらかを明記)を記入し、〒640和歌山市小松原通1-1 県教育庁文化施設整備室へ。なお、応募多数の場合は抽選となります。



充実した学習環境 県立図書館

蔵書能力100万冊を誇り、県の中核図書館として機能する県立図書館。

館内1階にある開架閲覧室の広さも約2,100平方メートルとなっています。



各コーナーご案内

基本図書コーナー

学生・一般成人を対象に、さまざまな分野についての基本的資料から専門的学術資料まで幅広い主題の資料(図書)をそろえています。

参考図書コーナー

ちょっとした疑問や専門用語の調査など、さまざまな分野の疑問解決のため役立つ資料を備えています。調べ方や見方がわからない時は係員にお聞きください。

ブラウジングコーナー

小説や新聞、雑誌などをそろえています。気軽に手にとってご覧ください。

(県内発行誌紙は郷土資料コーナーにあります)

郷土資料コーナー

和歌山県とその関連する地域の資料を郷土資料として、また、和歌山県に在住もしくはゆかりの深い人の著作や県内で出版された資料を県人文庫として特に収集しました。

木の文化資料コーナー

「木の国・和歌山県」の理解を深めるとともに「木の国」の名にふさわしい香り高い県民文化の向上に役立つように「木の文化」に関連した資料を特に収集しました。

児童室

幼児・児童を対象に、児童書、絵本、紙芝居をそろえています。そのほか、児童文学研究書も置いています。紙芝居の上演や絵本の読み聞かせのできるおはなしコーナーもあります。

お気軽にどうぞ きのくに志学館

さらなる文化の向上を目指し今月30日オープンする「きのくに志学館」は、「県立図書館」、「県文化情報センター」、「県立文書館」からなる文化施設。

今月号は、それぞれの施設の機能や利用方法をご紹介します。

お気軽にご利用ください。(図書などの貸出は31日からです。)

音や映像による学習を 県文化情報センター

情報の提供と相談

AVラウンジ

ビデオやコンピュータなどにより、さまざまな文化や生涯学習の情報の提供を行います。自由にご利用ください。

マルチビジョン

9面に分割できるマルチ画面により、テーマ映像、テレビや衛星放送、ビデオ、レーザーディスクなどいろんな映像が視聴できます。



ビデオコーナー

300本のリクエストメニューから自由に選んだビデオを個別のブースで視聴することができます。

オーディオコーナー

CD、カセットテープによる音楽などを個別のブースで聴くことができます。

静止画情報コーナー

静止画を中心とした映像で和歌山県の各地域の情報などを提供します。

パソコン体験コーナー

楽しみながらパソコンを体験できるコーナーです。



オーディオコーナー

ビデオコーナー

パソコン体験コーナー

利用方法

閲覧

- ・閲覧室に並んでいる図書は自由に利用できます。
- ・カード目録と利用者用コンピュータ端末機を使って資料をさがすことができます。

貸出

- ・県内に在住、通勤、通学の方に限ります。
- ・館内に備え付けの「利用券登録申込書」に記入のうえ、氏名、住所を確認できるもの(健康保険証、運転免許証など)を添えてカウンターに申し込んでください。「貸出利用券」をその場で発行します。
- ・5冊(点)以内で期間は2週間です。
- ・返す時はカウンターにお持ちください。
- ・休館日や夜間の時は、返却ポストへお返しください。

資料相談

- ・調査、研究のための資料の紹介や資料のさがし方の案内を調査相談カウンターで行っています。
- ・電話や文書による相談も受け付けています。

複写

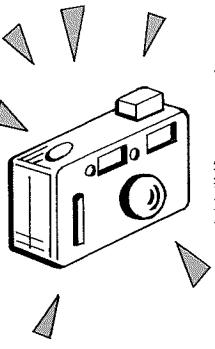
- ・図書館の資料を複写したい時は、カウンターまで申し出てください。(※製本した新聞など一部複写できない資料もあります。)
- ・著作権法の許す範囲内で複写することができます。(有料)

そのほか、移動図書館車での巡回や公共図書館への貸出、公民館などへの一括貸出も行います。

おしらせ



和歌山県写真コンテスト



対象 県内に在住または通勤、
通学している方

テーマ 「祭り・イベント」生
活にリズムを与え、人びとに活
躍動感を伝えるもの

規格 カラー、白黒ともキャビ
ネ(サービスキヤビネも可)

四つ切り、組写真は不可

賞 知事賞1点、特選1点、準
特選2点ほか

応募方法 作品の裏面に題名、
撮影日時・場所、住所、氏名、
年齢、職業(勤務先、学校名)、
電話番号を記入し、9月30日ま
でに県庁広報公聴課へ
くわしくは応募先へ

四つ切り、「祭り・イベント」生
活にリズムを与え、人びとに活
躍動感を伝えるもの

規格 カラー、白黒ともキャビ
ネ(サービスキヤビネも可)

四つ切り、組写真は不可

賞 知事賞1点、特選1点、準
特選2点ほか

応募方法 作品の裏面に題名、
撮影日時・場所、住所、氏名、
年齢、職業(勤務先、学校名)、
電話番号を記入し、9月30日ま
でに県庁広報公聴課へ
くわしくは応募先へ

り、コンテナに入れて棚に収納
する競技です。

資格 県内に在住または通勤、
通学している個人・グループ

賞 知事賞、アイデア賞、デザ
イン賞など

日時・場所 平成6年2月13日
和歌山地域産業振興センター(和歌山市)

説明会 8月2日(和歌山地域
産業振興センター)、8月3日(西牟婁県事務所(田辺市))

いざれも午後1時)

申込 9月30日までに県庁産地
振興課内県口ボットコンクール
実行委員会事務局へ

※要項をお送りしますので、申
込先へ電話またはハガキでご連
絡ください。

くわしくは申込先へ

住の方 定員 50人(多数の場合選考)
参加費 無料
申込方法 7月30日までに各市
町村青少年担当課へ
くわしくは県庁青少年女性課へ
各県事務所民生課へ

家族デー・夏のつどい

日時 8月28日(一泊二日)

場所 県立白崎少年自然の家
定員 26家族程度

参加費 小・中学生1,780円
以上2,350円

内客 天体観測、自然観察など

申込方法 ハガキに「家族デー・
夏のつどい」参加希望と明記の
うえ、住所、氏名、年齢、電話
番号、参加人数を記入し、7月
31日(必着)までに〒649-1111
高郡由良町大引961-1県立白崎
少年自然の家へ

くわしくは申込先へ

PART VI WIXASふれあい広場

日時 8月28日(一泊二日)

場所 和歌山県及び日本、海外の文
化を教材とした英語セミナーを
開催します。

くわしくは申込先へ

WIXASふれあい広場

日時 8月28日(一泊二日)

場所 和歌山県及び日本、海外の文
化を教材とした英語セミナーを
開催します。

くわしくは申込先へ

ふるさと誕生日記念

日時 8月20日(一泊二日)

場所 県立生石高原の家(金屋
町)

対象 県内在住の方

募集人員 日本人・外国人合わ
せて40人(多數の場合抽選)

参加費 2,000円

申込方法 ハガキに参加者(1
枚に2人まで)の氏名、住所、
年齢、国籍、電話番号、代表者
の連絡先を記入し、8月3日(必
着)までに県庁国際交流課内(附)
国際交流協会へ

くわしくは申込先へ

ふるさと誕生日記念

日時 8月20日(一泊二日)

場所 県立生石高原の家(金屋
町)

対象 県内在住の方

募集人員 日本人・外国人合わ
せて40人(多數の場合抽選)

参加費 2,000円

申込方法 ハガキに参加者(1
枚に2人まで)の氏名、住所、
年齢、国籍、電話番号、代表者
の連絡先を記入し、8月3日(必
着)までに県庁国際交流課内(附)
国際交流協会へ

くわしくは申込先へ

ふるさと誕生日記念

日時 8月20日(一泊二日)

場所 県立生石高原の家(金屋
町)

対象 県内在住の方

募集人員 日本人・外国人合わ
せて40人(多數の場合抽選)

参加費 2,000円

申込方法 ハガキに参加者(1
枚に2人まで)の氏名、住所、
年齢、国籍、電話番号、代表者
の連絡先を記入し、8月3日(必
着)までに県庁国際交流課内(附)
国際交流協会へ

くわしくは申込先へ

ふるさと誕生日記念

日時 8月20日(一泊二日)

場所 県立生石高原の家(金屋
町)

対象 県内在住の方

募集人員 日本人・外国人合わ
せて40人(多數の場合抽選)

参加費 2,000円

申込方法 ハガキに参加者(1
枚に2人まで)の氏名、住所、
年齢、国籍、電話番号、代表者
の連絡先を記入し、8月3日(必
着)までに県庁国際交流課内(附)
国際交流協会へ

くわしくは申込先へ

技術講習会

日時 8月21日(午前9時30分～午後3時30分)

場所 和歌山市

対象 就業を希望する婦人等を対象

申込方法 の各種技術講習会を開催します。

受講料 無料(ただしチケット
など教材費は自己負担)

くわしくは申込先へ

技術講習会

日時 8月21日(午前9時30分～午後3時30分)

場所 和歌山市

対象 就業を希望する婦人等を対象

申込方法 の各種技術講習会を開催します。

受講料 無料(ただしチケット
など教材費は自己負担)

くわしくは申込先へ

技術講習会

日時 8月21日(午前9時30分～午後3時30分)

場所 和歌山市

対象 就業を希望する婦人等を対象

申込方法 の各種技術講習会を開催します。

受講料 無料(ただしチケット
など教材費は自己負担)

くわしくは申込先へ

技術講習会

日時 8月21日(午前9時30分～午後3時30分)

場所 和歌山市

対象 就業を希望する婦人等を対象

申込方法 の各種技術講習会を開催します。

受講料 無料(ただしチケット
など教材費は自己負担)

くわしくは申込先へ

国土緑化運動・育樹運動

日時 8月22日(午前9時30分～午後3時30分)

場所 和歌山市

対象 植樹の大切さや森林・樹
木の保護、保育を訴えるもの

申込方法 形式

縦51cm×横36cm(B3)

絵貼絵は除く・文字は使用禁止

対象 県内の小・中・高校生

申込方法 作品の裏面に画題、
学校所在地、学校名、学年、氏
名(ふりがな)、性別を記入し、
学校を通じて9月10日までに各
県事務所林務課へ

くわしくは申込先へ

国土緑化運動・育樹運動

日時 8月22日(午前9時30分～午後3時30分)

場所 和歌山市

対象 植樹の大切さや森林・樹
木の保護、保育を訴えるもの

申込方法 形式

縦51cm×横36cm(B3)

絵貼絵は除く・文字は使用禁止

対象 県内の小・中・高校生

申込方法 作品の裏面に画題、
学校所在地、学校名、学年、氏
名(ふりがな)、性別を記入し、
学校を通じて9月10日までに各
県事務所林務課へ

くわしくは申込先へ

「県民米」愛称募集

日時 9月23日(火)～26日(金)

場所 中辺路町古道ヶ丘(グリーンスボーツセンター)

対象 18歳～40歳までの県内在

る者

リモートコントロールロボット
コンクール'94参加者

くわしくは婦人等就業援助センタ
ー(0734-33-1181)各申込先へ

障害児親子ふれあい教室

水生生物による水質調査

川にすむ生物の生息状況をも
とにした水質調査をしてください。

としました。水質調査をしてくださ
る方を募集します。

どを学んでください。

としました。水質調査をしてくださ
る方を募集します。

としました。水質調査をしてくださ
る

おしらせ

催し

県民文化会館 ☎(0734)36-1331

第6回吹奏楽研修講座 平成5年度全日本吹奏楽コンクール課題曲クリニック打楽器を中心として一

7月21日 午後2時~ 500円

県植物公園緑花センター ☎(0736)62-4029

自然教室「植物の観察と採取」 8月8日

お気程にどうぞ

交通事故相談

[常設相談] 月~金曜日 (東牟婁県事務所は水曜日を除く)

場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所

[弁護士による相談] ●県庁交通事故相談所 7月12日、19日 ●東牟婁県事務所 每月第1、3金曜日 受付 午後1時~2時

[巡回相談] ●西牟婁県事務所 7月20日 ●伊都県事務所 7月28日 ●日高県事務所 8月3日 受付 午後3時まで

県民相談

[常設相談] 月~金曜日

場所 県庁県民相談室、各県事務所

[弁護士による法律相談] 每月第2、4金曜日 受付 午前9時~11時 場所 県庁県民相談室

[移動相談] ●由良町児童館 7月16日 ●田中市民会館 8月4日 受付 午後1時~3時30分

電波で結ぶあなたと県政

テレビ テレビ和歌山

きのくに'93 金曜日 午後10時~
ホットライン県政 (再)日曜日 午前11時~
県政フラッシュ 金曜日 午後6時15分~
県民チャンネル 月~土 午後8時55分~
はばたく紀の国 土曜日 午後6時~

ラジオ 和歌山放送

県民マイク 土曜日 午後2時30分~
県庁だより 月~日 午前11時40分~
(再)月~金 午後5時40分~
(再)土・日 午後6時~

定期便教育の窓 第2、4土曜日午後2時15分~

文字放送 テレモ西日本 511#

紀の国・和歌山情報 每日午前6時~深夜0時

考え方 知ろう 語ろう
北方領土

県庁・県教育庁は

国民年金写真コンクール

幸せ、健康、思いやりをテーマとした写真を募集します。

規格 カラー、白黒ともキャビネット以上4つ切りまで(パノラマ・組写真は不可)

賞 特選1点(賞金3万円、賞状、記念品)、入選3点ほか

応募方法 作品の裏面にタイトル、撮影場所、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入し、9月30日(消印有効)までに県

府国民年金課へ(一人3点以内)くわしくは応募先へ

くわしくは応募先へ

せんそくサマースクール

せんそくの正しい知識、発作時の対応の仕方などを学んでください。

日時 8月1日~3日

場所 県立みはま養護学校、国立療養所和歌山病院(美浜町)

対象 せんそく児(小学生に限る)40人

参加費 15,000円

申込 ハガキか電話で〒644日高郡美浜町松原1-138 国立療養所和歌山病院医事係 ☎(0738)23-2379へ

23-2379へ くわしくは申込先へ

商業統計調査広報用ポスター

バスクを利用して、いろいろな県の施設を見学してみませんか。

日時 8月28日~29日一泊二日

場所 各都市を出発し串本町へ

対象 県内の母子家庭の小学5、6年生の児童とその母親

定員 親と子合わせて300人

参加費 親と子2人1組5,000円(児童1人増につき1,000円加算)

申込 各県事務所民生課(和歌山市の方は市役所厚生課)へ

*定員になり次第締め切ります。
くわしくは申込先、県庁児童家庭課へ

明るい選挙啓発ポスター

内容 明るい選挙の推進を表現するもの

形式 色彩は自由、大きさは45cm×30cm~55cm×40cm以内

対象 小・中・高校生(一人一点)

応募方法 作品の裏面右下に県名、学校名、学年、氏名(ふりがな)、性別を記入し、9月10日までに各市町村選挙管理委員会へ

くわしくは応募先へ

母と子の県政教室参加者

バスを利用して、いろいろな県の施設を見学してみませんか。

日時 8月28日~29日一泊二日

場所 各都市を出発し串本町へ

対象 県内の母子家庭の小学5、6年生の児童とその母親

定員 親と子合わせて300人

参加費 親と子2人1組5,000円(児童1人増につき1,000円加算)

申込 各県事務所民生課(和歌山市の方は市役所厚生課)へ

*定員になり次第締め切ります。
くわしくは申込先、県庁児童家庭課へ

「たそがれコンサート」

たそがれのひとときには、県警察音楽隊のコンサートをお楽しめください。

日時 7月9日、23日、8月13日

場所 和歌山城一の橋付近

「お城で「たそがれコンサート」」

「お城で「たそがれコンサート」」

たそがれのひとときには、県警察音楽隊のコンサートをお楽しめください。

日時 7月9日、23日、8月13日

場所 和歌山城一の橋付近

「お城で「たそがれコンサート」」

きのくに人材リターンフェア

和歌山県へのUターン就職を希望する来春大学等の卒業予定期や一般の方を対象に、県内企業の個別説明、ハローワーク(職業安定所)による就職相談、コンピュータによる適職診断を実施します。

日時 8月13日午前10時~午後4時

場所 和歌山ターミナルホテル6階「葵の間」(和歌山市)

くわしくは県経営者協会内にくに人材Uターンフェア事務局 ☎(0734)31-17376、

県庁職業安定課へ

「カツバの三平」

主人公三平の冒險を通じてカッパのガーラローとの友情や勇気、自然の大切さを教えてくれる作品。

日程 今月から上映の予定。上映場所、日程等くわしくは県庁青少年年保護課へ

「子どもたちの提言によるバネル討議」

健全で明るい家庭づくりをテーマにした子どもたちと大人によるパネル討議や湯浅中学校太鼓部の演奏が行われます。

日時 8月10日午後1時~

場所 湯浅町中央公民館

消防設備士試験

主人公三平の冒險を通じてカッパのガーラローとの友情や勇気、自然の大切さを教えてくれる作品。

日時 9月5日

場所 和歌山市内(受験票に明示)

「カツバの三平」

主人公三平の冒險を通じてカッパのガーラローとの友情や勇気、自然の大切さを教えてくれる作品。

日時 9月5日

場所 和歌山市内(受験票に明示)

消防設備士試験

主人公三平の冒險を通じてカッパのガーラローとの友情や勇気、自然の大切さを教えてくれる作品。

日時 9月5日

訪ねてみませんか 熊野古道

中辺路町高原、高原熊野神社（県指定文化財）のすぐ近くに、熊野古道散策の休憩所として、「高原霧の里」が完成しました。

同町栗栖川（滝尻）にある滝尻王子社跡から古道を歩いて約一時間四十五分、山間の町が一望でき、ちょっと一息つくのに絶好の場所。景観にマッチした木造りの建物で、近所の方がお茶の無料サービスもしてくれるとか。町では、観光情報の提供や特産物の販売も計画中のことです。

一方那智勝浦町、那智の滝方面に向かう県道沿い。車で走っていると、数カ所に灯籠と那智山までの距離を示す道標が建っているのが目になります。

那智勝浦町では、那智山には神の使いとして伝わる「八咫烏」をあしらうなど、那智山の雰囲気を高めています。

それぞれ、町が静かなブームとなっている熊野古道を整備しようと計画したもので、観光の振興に一役買いつつあります。

（中辺路町・那智勝浦町）

「浮島の森」に ふれあい広場



新宮市の「浮島の森」。市の中北部にある珍しい寒暖両性の植物群落を有する天然記念物です。

この浮島の入口に、モニュメントやベンチ、駐車場などを配した「ふれあい広場」が誕生しました。

白御影石製のモニュメントは、この島で大蛇に呑まれたという伝説の「おいの」という美しい娘と大蛇を表しています。

そのほか、アジサイやシダレ柳も植樹。井戸水を注入するなど島のまわりの水の浄化も試みられている「浮島の森」。観光客や市民のふれあいの場として期待されています。

(新宮市)



帆船 「貴志川丸」で遊ぼう

貴志川町長山にブランコや滑り台などのある子ども広場、ゲートボール場、野球やサッカーなどができる運動場を備えた「長山ふれあい公園」が誕生しました。

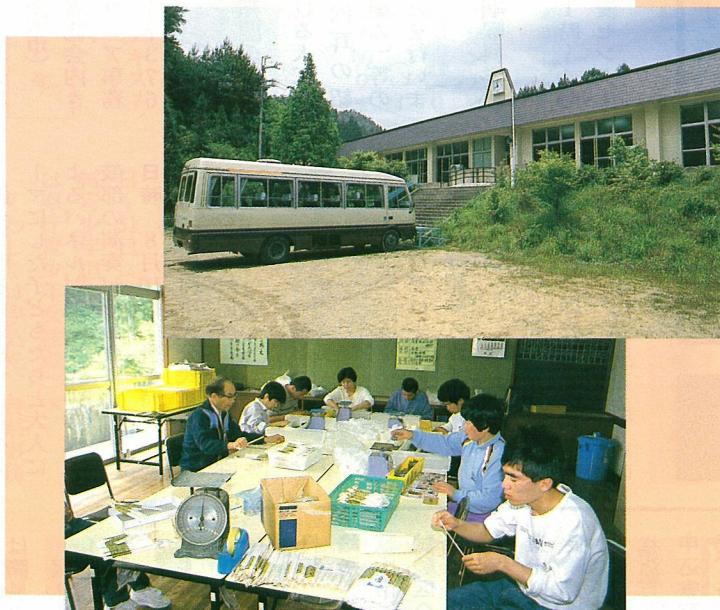
中でも、目を引くのが子ども広場にある帆船「貴志川丸」。一見すると普通の帆船に見えますが、滑り台や砂場などのあるユニークな遊具で、甲板部分からは公園全体が一望できます。

町が「いつでも、誰でも気軽に体を動かし、憩える施設を」と整備したこの公園、週末の日に家族連れで心身のリフレッシュを図るのに人気を呼びそうです。

(貴志川町)



NEWS



在宅障害者の 働く場として

橋本市の旧彦谷小学校の廃校舎を利用した精神薄弱者授産施設「橋本ひこたに作業所」がこのほど完成しました。市内に三施設あった作業所を統合したもので、三室の作業場や相談室、医务室、食堂、身体障害者用トイレ、マイクロバスなどを整備したほか、敷地内には運動場やプールなどもあります。

作業所では、障害の方々が割りばしの袋詰めや紙袋のひも付け作業などを行ない、社会参加を、そして社会的自立を目指しています。

(橋本市)

象徴天皇を示唆した高僧

山本玄峰

やまもとげんぽう

シリーズ 85

七月、いよいよ夏本番です。海や川にと水の恋しい季節です。私たちも、子どもの頃のように真っ黒に日焼けしたいといつも思うのですが、なかなか願いかないそうにありません。

七月からはリゾート博のリレーイベントが始まります。県内七ヵ所で楽しいイベントを実施し、多くのみなさんの参加をお待ちしています。また、前売り券も発売中です。お年寄りや障害者の方の割引制度もありますので、ご利用ください。

疲れがたまりやすい季節、睡眠不足や食中毒などにくれぐれもご用心を。

第二次世界大戦後、当時の政府は新憲法の草案づくりの中で、天皇制について議論を重ねていた。この時、憲法調査委員会の相談に対し、「天皇は政治から超然とした太陽のような存在で、空に輝く象徴というべきものだ」と進言した高僧が、山本玄峰であった。この進言が現在の日本国憲法第一条の条文を生んだといわれている。

東牟婁郡本宮町の湯の峰温泉に、慶應二年（一八六〇）玄峰は生まれた。十八歳の頃眼病からほとんど目が見えなくなつたことを思いつめ、四国靈場八十八ヶ所巡礼を思い立つ。明治二十二年（一八八九）、七度目の巡礼の時、土佐の雪蹊寺の門前で行き倒れとなり、山本太玄住職に励まされ出家を決意、翌年、得度し「玄峰」の名を授けられた。

夜も寝ずに虫めがねを使って経文を学び、全国を行脚し厳しい修行を続けた玄峰は、明治三十一年、太玄住職の養子となり、その後雪蹊寺の住職を継ぐ。そして各地の寺の復興に力を注ぎ、六十歳の頃からは欧米、中国など世界を自身で遍歴、昭和二十二年（一九四七）には臨済宗妙心寺派の管長に推挙されたのだった。

昭和三十六年、九十六歳で没。湯の峰温泉には、玄峰の遺徳を偲び、彼の絶筆を原寸で刻んだ碑が建っている。